

病室・CT室での撮影時の感染対策について

(兵庫県下の病院の対応方法を紹介します、皆様の施設でも対応策を検討してください)

【撮影前の準備】

1. ポケットの中身は全部出し、名札も外す。(個人被ばく線量測定用バッチは装着)
2. ポータブル装置のボックス内、サイドポケット内の物はすべて出しておく
3. FPDは2重にビニール袋に入れる。(開口部が同じ向きにならないようにする)
4. 撮影時の服装
 - ①袖付きナイロンエプロン
 - ②N95 マスク
 - ③キャップ
 - ④フェイスシールド、
 - ⑤手袋を着用(手袋は原則1枚:長めのニトリル)
5. ポータブル装置のPC部分等にIIカバー(ビニール)をかぶせる

【ポータブル撮影】(感染病棟の場合:原則2名で対応)

一人は患者対応(不潔対応)、1人は機器操作担当(清潔担当)

1. 全室扉がロックされると病室ロックが外れる
2. 撮影終了後
3. 撮影後 FPD のビニール袋1枚目(不潔)を外し、ポータブル装置のボックスに FPD を置く
4. 不潔対応者がベッドサイドインターホンで外回り看護師に退室の旨を伝える
5. 不潔対応者が病室のドアを開け、機器操作担当者が装置を病室から前室に出る
6. 不潔対応者と機器操作担当者は装置とともに前室の準不潔ゾーンへ移動する

*1人で対応時 手袋は2重 (インナー:長いニトリル、アウターは短いニトリル)で対応し

1. 撮影終了後
2. 病室看護師に撮影すみの2重にビニール袋に入れた FPD を一度もっていただく
3. 技師は1枚目の手袋を外し、FPD ビニール袋1枚目を外してポータブル装置のボックスに FPD を置く
4. 不潔ゾーン → 前室準不潔ゾーン(機器を拭いたのち) → 廊下

【撮影後】 前室での作業 <準不潔ゾーンと準清潔ゾーンに分けている>

2人対応の場合 (1人の場合は看護師・医師に手伝っていただく)

1. 不潔対応者は何も触れず、準不潔ゾーンで脱衣を行い、その後準清潔ゾーンに移動する
2. 機器操作担当者が FPD を2枚目のビニール袋から出し、元不潔対応者に渡す
3. 元不潔対応者は FPD を持って廊下に出る。環境クロスで FPD を拭く
4. 機器操作担当者は II カバーを外し廃棄する
5. 機器操作担当者は外回り看護師から環境クロスを受け取り、装置を拭く
6. 機器操作担当者は準不潔ゾーンで脱衣を行い、装置とともに準清潔ゾーンに移動する
7. ポータブル装置を前室から廊下に出す

最後に

1. 廊下に出てN95マスクを外す
2. 手指消毒を行う

【撮影前の準備】

CT撮影（原則2名で行う）

1. 撮影時の服装
 - ①袖付きナイロンエプロン
 - ②N95 マスク
 - ③キャップ
 - ④フェイスシールド、
 - ⑤手袋を着用（手袋は原則1枚：長めのニトリル）
2. CT周辺の備品を退避しておく（救急カートは検査室に置いておく）
3. 寝台には使い捨てシート（覆布）をかけておく
4. ガントリ内のボタン類にビニールをかける
5. 準備ができたなら医師に連絡をして患者を搬送してもらう。
6. 患者のセッティングは不潔対応技師と医師、看護師で行う（移動時も）
7. 撮影時には廊下（不潔対応技師も）に出る
8. 清潔担当技師がCT検査を行う
9. 撮影後、患者を移動して退出する。

【撮影後】

1. 寝台のシート及びビニール袋を廃棄する
2. CT装置を環境クロスで拭く
3. CT検査室で脱衣を行う（N95マスクのみ着用）
4. 撮影室から出てN95マスクを外す
2. 手指消毒を行う

※ 装置を拭いた後、次の患者とは十分に換気を行い、20分以上は間隔を空ける
ただし換気不良部屋の場合は、数時間間隔をあける必要がある